

基盤B (一般)	チェック項目
全体	全体的に
全体	様式の改変はないか(枠の拡張・ページ増減)
全体	誤字・脱字はないか
全体	句読点・カッコ・スペース・通し番号の過不足、飛びはないか
全体	カラーの図表等は白黒でも判別可能か(カラー使用制限はないが、審査員には白黒で送付)
全体	書体(明朝、ゴシックなど)の選択と、太字・下線など装飾は自由だが、不自然さはないか
表紙	表紙
表紙	部局は正しいか(医員・病院組織所属者は「大学病院」、その他は「医学部」)
表紙	職名は正しいか(職員録参照)※講師(学内)→助教
表紙	研究経費総計の90%超が特定の費目に偏っていないか(物品費除く)
表紙	(偏っている場合は、『研究経費とその必要性』ページに理由を書いているか)
表紙裏	研究組織
表紙裏	役割分担に「研究代表者」「研究分担者」など、役割でなく種別のみを書いていないか
表紙裏	(例えば「研究全体の遂行」だけでもいいので、実際に「何を」するか記入する)
表紙裏	エフォートが、実状に即した数値か(重要度でなく、応募課題に割く業務時間の比率として)
1~4	1 研究目的、研究方法など
1~4	文字サイズは11ポイントより小さくないか(見出しのサイズが11ポイントなので参考)
1~4	(概要)(本文)の文字が消えていないか
1~4	(概要)が10行程度になっているか
1~4	(概要)に設問(1)(2)(3)を網羅して回答してあるか(目安分量=5:3:2)
1~4	(本文)に設問(1)(2)(3)を網羅して回答してあるか(目安分量=2:1:3)
1~4	設問にない審査項目【波及効果】の記載もあるか(より広い学術・技術・社会への貢献)
1~4	※留意事項(斜体)が消してあるか
5	2 本研究の着想に至った経緯など
5	文字サイズは11ポイントより小さくないか(見出しのサイズが11ポイントなので参考)
5	設問(1)(2)を網羅して回答してあるか
5	(2)…他者による関連研究の状況と、今回申請する研究課題の位置づけ
6~7	3 応募者の研究遂行能力及び研究環境
6~7	文字サイズは11ポイントより小さくないか(見出しのサイズが11ポイントなので参考)(業績リストは以下でも可)
6~7	設問(1)(2)を網羅して回答してあるか
6~7	(1)…業績リストなど(業績リストの応募者名は下線などで目立たせるとよい)
6~7	(2)…必要な施設・設備・資料等、研究環境は整っているか
6~7	(論文)論文名、著書名、掲載誌名、巻号や頁等、発表年(西暦)等を記載してあるか
8	4 人権の保護及び法令等の遵守への対応
8	文字サイズは11ポイントより小さくないか(見出しのサイズが11ポイントなので参考)
8	対象となる措置を網羅してあるか(倫理・動物・組換えなど)
8	他のページに書いてある場合は、このページへ移動&空いた欄を充実させる
8	該当しない場合、その旨を書いているか
9	5 研究計画最終年度前年度応募を行う場合の記述事項
9	該当しない場合「空欄」にしてあるか(研究期間欄は「平成 年度～令和2年度」でよい)
9	該当する場合、各項目は10行程度で記載されているか
10~11	研究経費とその必要性
10~11	研究経費総計の90%超が特定の費目に偏っている場合、理由を書いているか
10~11	「その他」費として大きな割合を占めるものがある場合、理由を書いているか
10~11	各物品・料金の必要性が説明されているか
10~11	※採択時は一律3割減で交付される→それでも購入可能な金額に設定してあるか
10~11	※設備・消耗品: 用途もできる限り記入
10~11	※旅費: 行先・日数の予定もあれば記入
12	研究費の応募・受入等の状況
12	記載漏れはないか(次年度以降も続く場合、『期間全体の額』は見込で可)